

あいめーる

WINTER

愛隣館通信

令和7年2月20日発行
発行
社会福祉法人 愛隣園
障害者支援施設 愛隣館
発行責任者 三浦貴子
編集 広報チーム
キャリアビジョン

〒861-0551
熊本県山鹿市津留 2022
TEL 0968-43-2771
FAX 0968-43-2793
<http://aileans.com>
E-mail
ailinkan@magma.jp



今年の干支は「巳」です。
巳年は、成長や変革、再生の
象徴とされています。皆様に
とって新しい挑戦や、変化に
対して前向きな姿勢を示す
年になることを心よりお祈
り致します。

参加された皆様の笑顔を見
ることができ、この笑顔が続
く一年に繋げようと思いま
した。

お参りを無事済ませ、おみくじを引く方もいれば、「昨年しっ
かり守ってもらったけん、お焚き上げしてもらわなん」と、お守
りを返納する方もおられ、このひと時をそれぞれに過ごされま
した。また、今年も甘酒やゴボウ茶を振る舞って頂きました。
冷えた体のみならず、心まで温かくしてくれました。帰りの道
中、「おせちも食べたし、初詣も行けた。良い一年の始まりが
できた」との話に耳を傾け、

謹んで新春の祝詞を申し上げます。本年も皆様と新年を迎え
ることができたことを嬉しく思います。
さて、晴天に恵まれた元日と翌二日に、今年も彦嶽宮(下宮)神
社まで初詣に行って参りました。交通整理の方が立たれるほ
ど例年より参拝者が多く、境内は大賑わい。私達も幼子連れ
た家族に並び、昨年のお礼と今年への思いを皆でお伝えしまし
た。

ケア課チーフ

古川 慎市朗

愛隣館「初詣」





館長 三浦 貴子

冬号
二〇二五年を迎えました。本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます。

令和7年 (2025年)
二〇二五年程前に、「二〇二五年の高齢者介護」とい
う展望が厚労省より出され、少子高齢化が進む一方
で、ビートルズの音楽などに親しんだ団塊の世代の
方々が高齢期を迎え、サービスに多様性が求められ
るとされていたことを思い出します。

あいめーる 通信館隣愛
サービスの多様性に関しては、障害分野から見
ると当たり前に感じられることでした。少子化と、そ
こに伴う人材確保の困難性は直面している大きな
課題です。全国的に外国人就労者に支えられ、やっ
と成り立つ介護・福祉分野の実態を見えています。他
の産業も同様の時代を迎えました。支え手の多様性
と魅力を生かせる職場になりたいと願います。

昨年八月よりミャンマーからの特定技能実習生
で就職されたティンさんウィンさんも、初めてのク
リスマスとお正月を一緒に迎えました。八月に來日
した時、ミャンマーより暑くて驚いた熊本は夏、初
めて見た雪、辛さに声上げたお正月のからしレンコ
ン、チューブで見ていた日本の焼き肉。二人は
即座に館に馴染み、知性と体力で即戦力となってく

れました。何より、周りのスタッフの励みとなった
こと、笑顔と穏やかさが利用者の方々の喜びにつな
がっていることに感謝しています。

また十月から十二月まで四回、ボランティアに熊
本市から通っていただいた熊本学園大学付属高校
の甲斐帆乃夏さん。館には春風のような存在でした。
『寄る添う』ケアで社会への架け橋を」という体
験レポートには、心から驚きました。大学卒論のレ
ジューメ以上の内容と構成で、看護分野をめざす日本
の十七才に、これからの希望を感じたところです。
ありがとうございました。

アールブリュット展覧会 Vol. 10

山鹿市基幹相談支援センター「ディア」
相談支援専門員 松本 薫

今年も熊本県立美術館にて、生の芸術 Art Brut
展覧会 Vol. 10 を開催しました。今回は記
念すべき10回目の展覧会で、会場には数多くの作
品の展示に加え、パートナーズ熊本のこれまでのあ
ゆみや、作家のご家族・支援者からのメッセージも
パネル展示しました。10年間を振り返り、多くの
方々と作家との歴史や繋がりを感じられ、感慨深い
ものとなりました。歴代作家の作品やキュレーター
の方々のコラムも掲載された見ごたえのある画集
も発刊しました。

木村 県知事

もご来館され、
ひとり一人の
作品を丁寧に、
時間をかけて
鑑賞されまし
た。会場では恒
例の作家ライ
ブが行われ、制
作風景を生で
見ていた方々
からは「え？ハ
サミだけで作
っているの？」
「驚きました」
など感動の声



アールブリュット展覧会 Vol. 10 作家集合写真(中央が山品聡美さん)

会期：12月11日～22日 総来場者数：1,672名

が数多く聞かれました。また、作家家族からは、「子
どものときは大変だったのよ、今も色々心配はあ
るけど、美術館にいる時、作品制作をしている時は
生き生きしている」と話をしてくださいました。
作家や家族、関係者が展覧会を楽しみにして、目
標にしている人もいます。そしてなにより生きがい
にしている描く事・作る事を深く感じ、これからも
一人でも多くの人に作品を観て感動を覚えてもら
えるよう、この活動を大切にしていきたいと思いま
す。

スーパームーン 懇談会とみかん狩り

スーパームーン

大坂 芽生佳

今回で五回目となるスーパームーン懇談会とみ

かん狩りを十一月二十三日（土）に開催しました。

冬号

児童、保護者、スタッフ総勢四十五名の参加でし

た。懇談会では三浦館長の挨拶から始まり、家族レク

リエーションと体操を実施しました。家族レクリ

エーションでは、じゃんけんゲームと紙コップゲー

ムを行いました。体操

は、音楽に合わせてラ

ーメン体操をその場

にいる全員で行いま

した。子どもさんのみ

ならず、保護者の方も

ノリノリで参加して

くださり、終始和やか

な雰囲気でした。

その後、みかん狩り

を実施し、皆さん、「美

味しい」と満面の笑

み。ご家族で食べごろのみかんを協力して採られる

ほっこりする場面も見られました。



『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された
広報チーム、キャリアビジョンが担っています。

新しい仲間

入居者

井上 博治



こんにちは、昨年十二月末に愛隣館に入居しまし
た井上博治（ひろはる）です。

温かいスタッフさんが優しい言葉で話を聞いて

くれるので安心して生活出来ています。

趣味は、将棋です。デイケアでも対戦するなどし

て日々楽しく過ごしています。

よろしくお願いします。



デイケア

平野 良市

私は、愛隣館デイケアを利用して、約四ヶ月にな

ります。愛隣館デイケアは楽しいです。陶芸をし

り、カラオケ、将棋、オセロ、パソコンでの麻雀、

大根の栽培など色々な事が出来るので私にとって

は、有意義な時間が過ごせます。

余暇活動で美術館分館に久し振りに行った事も

嬉しかったです。私は、絵を描くのが好きで、若い

頃は、大作を描いていたのですが、今は、小さな作

品しか描きませんが、絵には非常に関心があり、美

術館分館に行けたのはとても良かったです。私にと

って、とても刺激になりました。これからも愛隣館

で有意義な時間を過ごせれば幸いです。

デイケア

田崎 路裕



こんにちは、田崎路裕（たさきみちひろ）とい

ます。昨年十月から愛隣館デイケアを利用していま

す。

趣味は、映画鑑賞です。以前は映画館によく通っ

ていました。映画館の良いところは、大画面、大音

量で見ることができて臨場感を肌で味わえること

です。また、その時間だけは他の事を気にせず、その

世界に入って楽しめる事です。体調が良くなったら、

また映画館に行きたいと思っています。

デイケアでは趣味の将棋をはじめ、オセロ、カラ

オケなどを楽しんでいます。利用者の方が優しく声

をかけて誘って下さるので、楽しく過ごしています。

皆様、どうぞよろしくおねがいします。

新人職員紹介

食生活課

池田 ひろ子



（大切にしていること）家族や友達と、旅行に行っ

た時の写真や思い出の品を大切にしています。たま

には、手に取り懐かしく思い出しています。沢山の

方からお声をかけて頂きその心遣いを大切にしていきたいと思っています。

(抱負) 昨年六月で前の職場を辞めて、今日、自由な時間を満喫していましたが又、若い人の中で働きたいと思い十二月よりお世話になりました。宜しく願います。

くまもと障がい者芸術展

デイケア陶芸講師

境 喜美代

十一月十二日(火)から十七日(日)にかけて熊本県立美術館分館にて「くまもと障がい者芸術展」が開催されました。

今年も愛隣館(本館・デイケア・愛隣倶楽部)から絵画、手芸、陶芸と合計二十四名の利用者の方が出品されました。

今回は、デイケアご利用の伊藤登美代さんの陶芸作品「どじょうすくい」が、工芸の部に、「心に



作品名:「どじょうすくい」

作者: 伊藤登美代さん

残った作品として多くの方々からの支持を受けてハートウィーク賞を受賞されました。

伊藤さんは、「コメントに「クスッと笑えます様に」と書かれているとおり、どじょうをすくっている人が今にも動き出しそうで、ユニークな作品でした。他の皆さんの作品も気持ちのこもった素敵な作品がいっぱい展示されているので、来年もまた行きたいと思いました。

法人愛隣園

クリスマス集い

今日はクリスマスイブ! 食堂では、ちょっとおしやれな装いの利用者と職員がテーブルを囲みクリスマスディナーがスタート。食生活課手作りのご馳走をはじめオードブルやお寿司、クリスマスケーキなど豪華メニューが並び、皆さん会食を楽しみ満面の笑顔でした。

入居者のキャンセルサービスからクリスマス集いの始まり、各施設からの出し物の披露がありました。特に目を引いたのは入居者出し物の「愛隣館スライドショー」でした。入居の東智徳さんが、マウススティックを咥えタブレットで、画像や音楽編集を手



掛けられた作品。お笑いコンビあのねのねの「みんなの心ぼし」の音楽に乗って、入居者の笑顔や行事等の画像がテンポよく映し出され、会場の笑いを誘いました。「なすがまま」という言葉はあるが「きゆうりのぱぱ」という言葉はない♪など・・・最後に、少し恥ずかしがりやのサントさんが登場。盛り上げ隊と共に入居者にプレゼントを渡し記念撮影するなど大いに盛り上がりました。

クリスマスディナー・集いの一コマ

東智徳さん

愛隣館スライドショー



永田勝利さん(右)

ディナーでは、職員

と楽しいひと時を過ご



お知らせ

◆愛隣館家族報告懇談会

令和七年二月二十七日(木) 開催